

ESMPRO/ServerManager Ver.5 データ移行手順

第1章 はじめに

第2章 対象環境

第3章 注意事項

第4章 データ移行手順

目 次

目 次	2
オペレーティングシステムの表記	3
商 標	4
本書についての注意、補足	5
1. はじめに	6
2. 対象環境	7
3. 注意事項	8
4. データ移行手順.....	9
4.1 バックアップ手順	11
4.2 リストア手順	14
4.3ESMPRO/ServerManager Ver.5.66 以降へのアップデート	17

オペレーティングシステムの表記

本書では、Windowsオペレーティングシステムを次のように表記します。

本書の記載	Windows OSの名称
Windows Server 2012	Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 Datacenter
Windows Server 2008 R2	Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows Server 2008 R2 Datacenter
Windows Server 2008	Windows Server 2008 Standard Windows Server 2008 Enterprise Windows Server 2008 Datacenter Windows Server 2008 Foundation Windows Server 2008 Standard 32-bit Windows Server 2008 Enterprise 32-bit Windows Server 2008 Datacenter 32-bit
Windows Server 2003 R2	Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2 Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2 Standard Edition Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition
Windows Server 2003	Windows Server 2003 Standard x64 Edition Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition Windows Server 2003 Enterprise Edition
Windows 8	Windows 8 Pro 64-bit Edition Windows 8 Pro 32-bit Edition Windows 8 Enterprise 64-bit Edition Windows 8 Enterprise 32-bit Edition
Windows 7	Windows 7 Professional 64-bit Edition Windows 7 Ultimate 64-bit Edition Windows 7 Professional 32-bit Windows 7 Ultimate 32-bit
Windows Vista	Windows Vista Business 64-bit Edition Windows Vista Enterprise 64-bit Edition Windows Vista Ultimate 64-bit Edition Windows Vista Business 32-bit Windows Vista Enterprise 32-bit Windows Vista Ultimate 32-bit
Windows XP	Windows XP Professional x64 Edition Windows XP Professional

商 標

ESMPROとDianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

なお、特にTM、®は明記しておりません。

本書についての注意、補足

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

1. はじめに

ESMPRO/ServerManager Ver.5.66より、Windows Server 2003およびWindows Server 2003 R2のオペレーティングシステム(以降、OS)上での動作はサポート対象外となります。そのため、Windows Server 2003およびWindows Server 2003 R2でESMPRO/ServerManagerをご使用中で、Ver.5.66以降のESMPRO/ServerManagerをご使用になる場合は、Ver.5.66以降でサポートするOSへ移行していただく必要があります。

本書は、Windows Server 2003およびWindows Server 2003 R2にインストールされたESMPRO/ServerManager Ver.5のデータを、別環境のESMPRO/ServerManager Ver.5へ移行する手順を説明しています。

本書での内容は、OSの機能、操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。OSに関する操作、不明点については、各OSのオンラインヘルプなどを参照してください。

本文中の記号

本文中では次の3種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味があります。



ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。



ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。



知っておくと役に立つ情報、便利なことなどを示します。

外来語のカタカナ表記

本書では外来語の長音表記に関して、国語審議会の報告を基に告示された内閣告示に原則準拠しています。但し、OS やアプリケーションソフトウェアなどの記述では準拠していないことがあります。誤記ではありません。

2. 対象環境

本手順書は、移行元の環境として以下を対象とします。

動作OS

Windows Server 2003 R2

Windows Server 2003

対象バージョン

ESMPRO/ServerManager Ver.4.1 ~ Ver.4.52

ESMPRO/ServerManager Ver.5.0 ~ Ver.5.63

3. 注意事項

データ移行を実施するにあたり、以下の注意事項があります。

以下の環境はサポート対象外です。

- ・ ESMPRO/Baseを使用する他製品(Netvisor, NetvisorPro, MCOperations, SystemManager, ClientManager, UXServerManager など)との共存環境
- ・ SigmaSystemCenter、BladeSystemCenter、ExpressSystemCenterとの共存環境

以下の情報は移行対象外です。

- ・ インストール時に指定した以下の情報は、ESMPRO/ServerManagerのインストール時に再度設定してください。
 - ユーザー名と会社名
 - ESMPROユーザグループ
- ・ アラートビューアの設定を既定値から変更している場合は、再度設定してください。
- ・ ローカルポーリング機能で使用するオブジェクトIDの一覧を既定値から変更している場合は、再度設定してください。

移行先でホスト名、IP アドレスなどを変更しないものとします。

移行作業後は、移行元と移行先の ESMPRO/ServerManager を並行使用せずに、移行先の ESMPRO/ServerManagerを使用してください。

4. データ移行手順

移行元のESMPRO/ServerManagerのバージョンがVer.4.1～Ver.4.52、または移行先のOSをサポートしていない場合は、移行元のESMPRO/ServerManagerをアップデートした後、手順に従ってデータ移行を行ってください。

ESMPRO/ServerManagerのサポートOSについては、以下をご確認ください。

[FAQ]

<http://www.nec.co.jp/pfsoft/smsa/faq.html>

Q. ESMPRO/ServerManagerが動作するOSを教えてください。

アップデートの手順については、ESMPRO/ServerManager Ver.5 インストレーションガイドのインストール手順を参照してください。

データ移行手順では、移行元と移行先のESMPRO/ServerManager Ver.5のバージョンを一旦同じにする必要があります。

移行元のESMPRO/ServerManager Ver.5が移行先のOSをサポートしていない場合は、最初に移行元のESMPRO/ServerManager Ver.5を、移行先のOSをサポートしているバージョンへアップデートする必要があります。

[作業の流れ]

下記の移行先のOS、およびESMPRO/ServerManagerのバージョンは一例です。必要に応じて適宜読み替えてください。

例1) 移行元のESMPRO/ServerManagerが移行先のOSをサポートしている場合

	移行元	移行先
OS	Windows Server 2003	Windows Server 2012
ESMPRO/ServerManager	ESMPRO/ServerManager Ver.5.63	ESMPRO/ServerManager Ver.5.63 Ver.5.66(*)

(*) 移行元と同じバージョンのESMPRO/ServerManagerをインストール後、希望のバージョンにアップデートする必要があります。



移行元での作業：

1. データのバックアップ

移行先での作業

2. バックアップしたデータ(NVWORKフォルダー)のリストア
3. ESMPRO/ServerManager Ver.5.63をインストール (移行元と同じバージョン)
4. バックアップしたデータ(serviceフォルダー等)のリストア
5. ESMPRO/ServerManager Ver.5.66へアップデート (希望のバージョンにアップデート)

例2) 移行元のESMPRO/ServerManagerが移行先のOSをサポートしていない場合

	移行元	移行先
OS	Windows Server 2003	Windows Server 2012
ESMPRO/ServerManager	ESMPRO/ServerManager Ver.5.41 Ver.5.63(*1)	ESMPRO/ServerManager Ver.5.63 Ver.5.66(*2)

(*1) 移行先のOSをサポートしているESMPRO/ServerManagerにアップデートする必要があります。

(*2) 移行元と同じバージョンのESMPRO/ServerManagerをインストール後、希望のバージョンにアップデートする必要があります。

移行元での作業：

1. ESMPRO/ServerManager Ver.5.63へアップデート(移行先のOSをサポートしたバージョン)

2. データのバックアップ

移行先での作業：

3. バックアップしたデータ(NVWORKフォルダー)のリストア
4. ESMPRO/ServerManager Ver.5.63をインストール (移行元と同じバージョン)
5. 移行元環境でバックアップしたデータ(serviceフォルダー等)のリストア
6. ESMPRO/ServerManager Ver.5.66へアップデート (希望のバージョンにアップデート)



ESMPRO/ServerManager Ver.5.63が必要な場合は、以下から入手してください。

ESMPRO/ServerManager Ver. 5.63 (Windows)

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102008>

4.1 バックアップ手順

移行元となるWindows Server 2003またはWindows Server 2003 R2の環境で実施する手順となります。



ESMPRO/ServerManager Ver.5のインストールフォルダーの既定値は以下となります。

32ビットOSの場合：システムドライブ:¥Program Files¥ESMPRO

64ビットOSの場合：システムドライブ:¥Program Files (x86)¥ESMPRO

1. 管理者(Administrator)権限を持つユーザーでサインイン(ログオン)します。
2. ESMPRO/ServerManagerをアップデートしてください。
ESMPRO/ServerManager Ver.4.1～Ver.4.52の場合：Ver.5.63へアップデート
ESMPRO/ServerManager Ver.5.0～Ver.5.63の場合：必要に応じて移行先のOSがサポートしているバージョンへアップデート
3. ESMPRO/ServerManager Ver.5にログインし、ヘッダーメニューのアラートビューアをクリックしてください。
アラートビューアのSNMPトラップ受信方法が[SNMPトラップサービスを使用する]の場合は、[独自方式を使用する]に変更してください。

Web GUIの場合：

1. ESMPRO/ServerManager Ver.5にログインします。
2. ヘッダーメニューのアラートビューアをクリックし、アラートビューアを表示します。
3. ヘッダーメニューの[アラート受信設定]()をクリックし、[SNMPトラップ受信方法]を[独自方式を使用する]に変更してください。
() ESMPRO/ServerManagerのバージョンによっては、[SNMPトラップ受信設定]と表示されます。

Windows GUIの場合：

1. OSの[スタート]メニューから[統合ビューア]を実行します。
2. オペレーションウィンドウ [オプション]-[カスタマイズ]-[自マネージャ]より、自マネージャ画面を開きます。
3. SNMPトラップ受信方法を"独自方式を使用する" に変更します。



- ・環境によっては、設定変更ができない場合があります。その場合は、"独自方式を使用する"が設定されていますので変更の必要はありません。
- ・SNMPトラップ受信方法を変更した場合、システムの再起動を指示されますが、ここではシステムを再起動しないでください。

4. ESMPRO関連のWeb GUI、Windows GUIを表示している場合は、すべて閉じてください。
5. ESMPRO/ServerManager Ver.5関連のサービスを停止してください。

停止順序	サービス名
1	DianaScope ModemAgent
2	ESMPRO/SM Event Manager (*3)
3	ESMPRO/SM Common Component
4	ESMPRO/SM Web Container
5	Alert Manager ALIVE(S) Service (*1,*2)
6	Alert Manager Main Service (*2)
7	Alert Manager Socket(S) Service (*1,*2)
8	Alert Manager Socket(R) Service (*1)
9	ESMPRO/SM Trap Redirection(*1)
10	ESMPRO/SM Base Service
11	Dmi Event Watcher(*1)
12	ESM Alert Service
13	ESM Command Service
14	ESM Remote Map Service
15	ESM Base Service
16	Alert Manager HTTPS Service (*1,*2)
17	SNMP Trap Service(*1)

(*1) 設定により停止していることがあります。停止している場合は、サービスの停止を行う必要はありません。

(*2) 環境によっては存在しない場合があります。

(*3) ESMPRO/ServerManager Ver.5.5未満では存在しません。

6. 以下のバックアップ対象ファイルおよびフォルダーを任意のフォルダーにコピーし、移行先でできるように保管してください。

6.1 ESMPRO/ServerManager Ver.5インストールフォルダー¥NVWORK(以降、%NVWORK%と記載します)と配下の対象ファイルを任意のフォルダーにコピーしてください。

対象ファイル/フォルダー名		除外ファイル/フォルダー
%NVWORK%	フォルダー ()	NVWORK¥AMWORK フォルダー
		NVWORK¥DATA¥alert フォルダー マネージャ間通信イベント通知 再送機能で使用する情報が格納されています。バックアップ時に再送待ちのイベントが残っている場合は、リストア後に再送されます。 再送機能を使用されている場合はバックアップ対象からの除外をお願いします。
%NVWORK%¥AMWORK¥sck¥AMVSCKR.LOG	ファイル	なし

フォルダーごとすべてコピーし、除外フォルダーを削除してください。

6.2 ESMPRO/ServerManager Ver.5インストールフォルダー¥ESMWEB¥wbserver¥webapps¥esmpro¥WEB-INF(以降、%WEB-INF%と記載します)配下の対象ファイル/フォルダーを任意のフォルダーにコピーしてください。

	対象ファイル/フォルダー名	除外ファイル/フォルダー
	%WEB-INF %¥service	フォルダー portinfo.bat portinfo.txt
	%WEB-INF %¥mngPkgData	フォルダー なし
	%WEB-INF %¥db	フォルダー なし
	%WEB-INF %¥classes¥av_setting.properties	ファイル なし

対象フォルダーごとすべてコピーし、除外ファイルを削除してください。

ご使用のバージョン及び環境によっては、対象のフォルダー/ファイルが存在しない場合があります。存在しない場合は、作業は不要です。

- 6.3 ESMPRO/ServerManager Ver.5インストールフォルダー¥ESMWEB配下のpkgpoolフォルダーを任意のフォルダーにコピーしてください。

	対象ファイル/フォルダー名	除外ファイル/フォルダー
	ESMPRO/ServerManager Ver.5 インストールフォルダー¥ESMWEB¥pkgpool	フォルダー なし

ESMPRO/ServerManager Ver.5インストール時に、更新パッケージの保存フォルダーを変更している場合は、指定したフォルダーを対象としてください。

ご使用のバージョン及び環境によっては、pkgpoolフォルダーが存在しない場合があります。存在しない場合は、作業は不要です。

7. システムを再起動してください。

8. 手順 3 でSNMPトラップ受信方法を変更している場合は、[SNMPトラップサービスを使用する]に変更後、再度、システムを再起動してください。

4.2 リストア手順

移行先の環境が以下の条件を満たすことを確認し、以下の手順を実施してください。（手順番号はバックアップ手順からの連番です）

- ・ ESMPRO/ServerManager Ver.5.66以降でサポートしているOS
- ・ ESMPRO/ServerManagerが未インストール

9. 管理者(Administrator)権限を持つユーザーでサインイン(ログオン)します。

10. ESMPRO/ServerManager Ver.5インストール予定のフォルダー(以降、%ESMPRO%と記載します)を作成してください。



ESMPRO/ServerManagerインストールフォルダーの既定値は以下となります。

32ビットOSの場合：システムドライブ:\Program Files\ESMPRO

64ビットOSの場合：システムドライブ:\Program Files (x86)\ESMPRO

64ビットOSでは「システムドライブ:\Program Files\ESMPRO」にインストールすることはできません。

11. バックアップ対象ファイル（NVWORK） のリストア

%ESMPRO%フォルダー配下に、手順 6.1 で採取した の **NVWORKフォルダー** をコピーしてください。

12. バックアップ対象ファイル（NVWORK） のリストア

12.1 %ESMPRO%\NVWORK\AMWORK\sckフォルダーを作成してください。

12.2 sckフォルダー配下に、手順 6.1 で採取した の **AMVSKR.LOGファイル** をコピーしてください。

13. 移行元の環境と同じバージョンのESMPRO/ServerManager Ver.5をインストールしてください。
インストール時に表示される入力項目については、以下をご確認ください。

入力項目	設定内容
ユーザー名と会社名	ユーザー名と会社名は引き継がれません。任意の情報を入力してください。
インストール先	%ESMPRO%を指定してください。
ESMPROユーザグループ	ESMPROユーザグループは引き継がれません。任意のユーザグループを指定してください。 移行元と同じユーザグループを使用したい場合は、移行先にあらかじめユーザグループを作成しておいてください。
アドミニストレータ名とパスワード	手順14.2のリストアでバックアップされたデータに置換されますので、設定値は無効になります。 ESMPRO/ServerManagerへのログインは、移行元で使用していたアドミニストレータ名とパスワードをご使用ください。
HTTP接続ポートの入力	HTTPS 接 続 ポ ー ト 番 号 は 引 き 継 が れ ま せ ん 。 移 行 先 の

	ESMPRO/ServerManagerが使うHTTP接続ポートを入力してください。
更新パッケージの保存フォルダ	<p>手順14.212のリストアでバックアップされたデータに置換されますので設定値は無効になります。</p> <p>手順19で、設定ファイルのEU_RM_PKG_DATAPOOL_PATHを修正する場合は、そのフォルダーが更新パッケージの保存フォルダーとなります。</p>



ESMPRO/ServerManager Ver.5をインストール後、システムの再起動を指示されますが、ここではシステムを再起動しないでください。

14. バックアップ対象ファイル（WEB-INF） のリストア

14.1 以下のファイルを除き、%ESMPRO%\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INF\service配下のフォルダーおよびファイルを削除してください。

- ・ portinfo.bat
- ・ portinfo.txt

14.2 %ESMPRO%\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INFフォルダー配下に、
手順 6.2 で採取した の **serviceフォルダー** をコピーしてください。

15. バックアップ対象ファイル（WEB-INF） のリストア

%ESMPRO%\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INFフォルダー配下に、
手順 6.2 で採取した の **mngPkgDataフォルダー** をコピーしてください。
mngPkgDataフォルダー が存在しない場合は、作業は不要です。

16. バックアップ対象ファイル（WEB-INF） のリストア

%ESMPRO%\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INFフォルダー配下に、
手順 6.2 で採取した の **dbフォルダー** を コピーしてください。
dbフォルダー が存在しない場合は、作業は不要です。

17. バックアップ対象ファイル（WEB-INF） のリストア

%ESMPRO%\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INF\classesフォルダー配下に、
手順 6.2 で採取した の **av_setting.propertiesファイル** をコピーしてください。
av_setting.propertiesファイル が存在しない場合は、作業は不要です。

18. バックアップ対象ファイル（pkgpool） のリストア

%ESMPRO%\ESMWEBフォルダー配下に、手順 6.26.3 で採取した の **pkgpoolフォルダー** をコピーしてください。
ただし、更新パッケージを既定値以外のフォルダーに保存したい場合は、 の **pkgpoolフォルダー** 配下のファイルを、保存したいフォルダー配下へコピーしてください。
その場合、手順19で保存フォルダーの指定を行う必要があります。

pkgpoolフォルダー が存在しない場合は、作業は不要です。

19. 設定ファイルの修正

以下の修正ファイルをテキストエディターで開いてください。

修正ファイル： %ESMPRO%\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INF\service\options.txt

対象のプロパティ名を検索し、設定値の内容に修正してください。

対象のプロパティ名が存在しない場合は、作業は不要です。

プロパティ名	設定値
SM_WEBINF_PATH	%ESMPRO%\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INF
EU_RM_PKG_DATAPOOL_PATH	%ESMPRO%\ESMWEB\pkgpool (手順18で、更新パッケージ保存フォルダーを既定値以外とした場合は、そのフォルダーのパスをここに記載します)

例) 64ビットOS上でESMPRO/ServerManagerを既定のインストールフォルダーにインストールする場合、修正後、

SM_WEBINF_PATHとEU_RM_PKG_DATAPOOL_PATHの行の内容は

「SM_WEBINF_PATH= C:\Program Files (x86)\ESMPRO\ESMWEB\wbserver\webapps\esmpro\WEB-INF」と

「EU_RM_PKG_DATAPOOL_PATH= C:\Program Files (x86)\ESMPRO\ESMWEB\pkgpool」とします。



ESMPRO/ServerManager Ver.5のインストールフォルダーが移行元と移行先で同じ場合は修正を行う必要はありません。

20. システムを再起動してください。



システムを再起動後、アラートビューアに「SNMP TRAPポートバインド不可」のアラートが登録されることがありますが、手順21でSNMPトラップ受信方法の再設定を行うことにより解決されます。

21. ESMPRO/ServerManager Ver.5にログインし、アラートビューアの[アラート受信設定]でSNMPトラップ受信方法を変更してください。

< SNMPトラップサービスを使用する場合 >

21.1 [独自方式を使用する] から [SNMPトラップサービスを使用する] に変更して画面を閉じてください。

< 独自方式を使用する場合 >



Ver. 5.63未満のESMPRO/ServerManager Ver.5からデータ移行を行った場合は、以下の手順21.1から手順21.3を実施する必要はありません。

21.1 [独自方式を使用する] から [SNMPトラップサービスを使用する] に変更して画面を閉じてください。

21.2 システムの再起動は行わずに再度設定画面を開いてください。

21.3 [SNMPトラップサービスを使用する] から [独自方式を使用する] に変更して画面を閉じてください。

22. 手順21にて設定を変更された場合はシステムを再起動してください。



- ・ESMPRO/ServerManager Ver.5のログインアカウント(ユーザ名・パスワード)もリストアされますので、移行元と同じアカウントでログインしてください。手順913のインストール時に指定したログインアカウントではありません。
- ・アラートビューアの設定を既定値から変更している場合は、再度設定が必要です。
- ・ローカルポーリング機能で使用するオブジェクトIDの一覧を既定値から変更している場合は、再度設定が必要です。
- ・ESMPRO/ServerManager Ver.4.1～Ver.4.52からのデータ移行を行った場合は、リストア後にWeb GUI上で自動登録を行ってください。

DianaScope Managerがインストールされていた場合、アップグレードインストール後、DianaScope Managerの管理対象サーバのみが登録されます。

ESMPRO/ServerAgent Ver. 4.1未満などの管理対象外サーバ、および、マップは登録されません。



リストア後は、動作に問題がないことを確認してください。

確認内容は主に以下です。

- ・ESMPRO/ServerManager Ver.5にログインできること
- ・ESMPRO/ServerManager Ver.5画面上のツリーを確認し、移行元のESMPRO/ServerManager Ver.5に登録していたコンポーネントが引継がれていること
- ・コンポーネントの状態が取得できていること

4.3 ESMPRO/ServerManager Ver.5.66以降へのアップデート

移行元のバックアップファイルのリストアを実施後、ESMPRO/ServerManager Ver.5を目的のバージョンにアップデートします。(手順番号はリストア手順からの連番です)

23. ESMPRO/ServerManager Ver.5 インストレーションガイドのインストール手順にしたがって、Ver.5.66以降にアップデートしてください。

Revision History

1.00	2013/09/09	初版
------	------------	----